

旭川の可能性無限大（旭東地区若手農業者との意見交換会）
意見交換の記録

（市長）

今日は、スマート農業機器操作という貴重な経験をさせていただきました。農業の発展が旭川市の未来につながっていくと思いますので、どうか皆さんの御意見をお寄せいただきたく、よろしく願いいたします。それでは順番にお願いします。

（参加者）

ICTを駆使した機械を使うと農作業が楽になって、精神的な疲れもなくなり、生活に余裕もできて農作業が進むという話を市長にしました。しかし、これは最先端技術の塊なのでコストがかかる。どうしても高い買い物になってしまって、なかなか小遣いで買うというような金額ではありません。やはり旭東地区では大区画化が進んでいますので、ICTはこれからどんどん必要になってきます。旭川市にはそういうスマート機器に対しての助成をお願いして、少しでも農業者側の負担が軽くなればもっと普及するのかなと思っています。

今は資材費や物価がどんどん高騰している中で農産物の価格だけはそのままです。僕ら生産者の懐に響いてきますので、本当にそういう高価な機械はなかなか買えないですし、投資も難しいという現状です。私も自動操舵を半額で購入できたりとか、ホクレンのモニターに参加して安く購入できたおかげで、ある程度、ICT機器を所有できているということです。

（参加者）

旭川市の補助ですが、去年はトラクターの自動操舵は5割補助だったのが、今年は3割補助になりました。大区画化工事が済んだ人は、いち早くスマート農業が活用できる。せっかく広いほ場になったのであれば活用しないと非常にもったいないので、大区画化特別枠というような補助制度があれば助かると思います。それと、できるだけ早く基盤整備工事が終わるよう国に働きかけていただけたらと思います。

（市長）

今のペースでいくと何年後くらいに大区画化になりますか。

（参加者）

私の場合は測量が終わったばかりなので、工事に入るのは来年か再来年から一部が入る予定です。

（市長）

それが完了するまでまた時間がかかるんですね。しっかりやっていかなければなりませんね。

（参加者）

自分はハウス栽培を行っていて、特に野菜栽培がメインなので、ICTとは今のところ無縁です。しかし基盤整備は早く進んでくれた方がハウスの建て直しもできるので、早めに進めていただきたいと思っています。

(市長)

土地を調整したりする必要があるのですか。

(参加者)

まだこれからです。自分のところは測量も入っていないので、まだ先の話です。

(加藤部長)

自動散水の助成がありますので、基盤整備の状況を見て相談してください。

(市長)

ズッキーニのほかに何を作っているのですか。

(参加者)

葉物野菜で、スーパーと相談して売れそうなものを追加して植えているので、毎年作る野菜は変わってくるんです。スーパーの要望もあるし、こちらも作りやすく手間のかからないものを提案したり、売り方を工夫しています。

(参加者)

やはりICTを活用していくと、これからの若い人達がどんどん農業に興味を持ってくれると思います。昔の人は「俺らの時代は」とよく言うんですが、もうそういう時代ではなく、若い人達が、省力的に、楽しんで機械に乗ったり、ドローンを飛ばしたり、そういうことが必要です。そうなっていくにはやはりコストの問題が大きくなってくるんです。消費者の方々は農家は国から手厚く守られていて、すごく儲かっているというイメージがあると思うんですけど、野菜とか米が値上がりしたとか値下がりしたというのはどこを基準にして判断しているのか、今だに僕には分からないんです。多分、基準というのは、農家が作物を作って贅沢はできないまでも暮らしていける状況だと思うんですよね。原油とか資材が高騰している中で、作物がちょっと何円かでも値上がりするとテレビやニュースで大騒ぎするじゃないですか。僕らそんな儲かってないんですよね。でもやっぱりお米を買っていただいている市民からすると、「農家さんって儲かっていいよね。国からもお金出るんだもんね。」って、まず消費者の意識を何とか変えていく施策に期待します。

(参加者)

最近鹿の被害がかなり増えていると思っています。5頭くらい群れになって動き回っているのも見るし、足跡がすごいです。どうにか駆除とか追い払いをしてもらいたいと思っているのですが、YouTubeとかで見たらドローンを使って、赤外線を付けて鹿の位置を把握して、鹿の出没しやすいところで効率よく駆除や追い払いをしているようなところもあるみたいなんですね。そういうのはとてもいいと思っています。今、猟友会の方も高齢化で成り手がいないということを聞いているので、猟友会でもそういうICT的なものを使っていけば、駆除も効率よくできて、僕らもすごく助かると思うので、猟友会と連携していけば上手くいくのではないかと思います。

(参加者)

自分は水田より畑がメインで特に傾斜地が多いので、緩傾斜化に対する支援をいただければ、畑でのICT活用が容易になるかと思います。どうしても傾斜だとGPS位置情報のずれが生じてしまいます。

(市長)

携帯の電波は届くようになりましたか。

(参加者)

届いていない場所もありますね。

(鷺見課長)

各キャリアから連絡がきていて、基地局のアンテナの向きを変えたりいろいろな工夫を検討していただいております。

(参加者)

資材価格や農産物価格の安定化というのが生産者や消費者にも重要であり、そういった価格安定化に対する支援をお願いしたいです。また、私もドローンの購入を検討していますが、9月1日から中国からの輸入規制が実施されるということで、国産にしようかと悩んでいます。中国製は確かに性能はいいし価格も日本製よりは安いですが、輸入規制でドローンのメンテナンスも十分にできなくなる可能性もあり、国産ドローンの技術進歩に期待しながらも、なかなか決断しかねています。

(市長)

メンテナンスは重要ですね。

(参加者)

メンテナンスは1年に1回必ず出さなければなりません。年数が経てばそれだけ金額が増えていく。プロペラを回すモーターがちょっと聞いたことのないような値段がするので。中国製だと、もう部品がないとかそういう問題も出てくるので。そこが多分、皆さんがドローンに一步踏み込めないところなのかと思います。

(市長)

貴重な御意見をありがとうございます。たくさんの皆様からコストがかかるというお話がありまして、トラクターが1千万円、GPS自動操舵機能でいくらくらいですか。

(参加者)

システムはアンテナ本体、スマートフォンと通信機セットで200万円弱くらいですね。

(市長)

今までは国からのコロナ関連交付金があったので、それを財源にいろいろな事業に支援ができましたが、今後はそういったものがなかなか見込めない状況です。北海道の動きも見えないと分かりませんが、以前のように潤沢に交付されるような状況ではないようです。しかし、大区画化をする一番のメリットは、やはりスマート農業という技術を活用して時間短縮や省力化によって生まれる新たな時間を、違う農作業へ有効的に使い、そして利益が上がるようにチャレンジできることだと思いますので、それを意見としてしっかり承って、今後につなげていきたいと思っています。

そして、少しでも工事を早くということで、工事は令和15年完了ですね。やはり皆さんは本当に一日も早く工事が完了して欲しいという気持ちであると思いますが、

まずは毎年毎年、予算をしっかりと確保していくのはもちろんですが、1年でも2年でも早く、しっかりと基盤整備が完了できるように取り組んでいきたいと思っています。また私は、上川地区農業団体期成会の役員でもありますので、その立場からもしっかりと進めていきたいと思っていますし、旭東地区が終われば基盤整備をやりたいという地域もありますので、自分自身、そのことも心がけながら、予算獲得に向けて取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

葉物野菜が多いということで、スマート農業にはあまり縁がないという方もいましたが、ハウスの暑さ問題はありますよね。我々も遮熱対策はこれからの課題だというふうに思っております。お聞きしましたら、暑い時はとにかく小葱は焼けてしまうので、水をかけているということでしたけれども、そういった部分でこういうことを希望しているというものがあれば、お話を聞かせていただければと思います。

今回は、私と一緒に東京に行き、国会議員の皆さんや関係省庁に要望していただいた方もいますが、本当に熱心に旭川の現状をお伝えしていただき、改めて感謝を申し上げます。去年、農民連盟さんの会合に参加させていただき、そこでお会いしましたが、本当に今、旭川の生産者の皆さんがどういう気持ちでやっているかということ、自分も実際に総会に出てお話を聞かせていただき、また、市が進めようとしている農業施策のことも色々お伝えして、キャッチボールをさせていただきました。意外にも知っている人がたくさんいて、本当に嬉しくなりました。特に若い人がこれから楽しんで農業をやれて、楽に、そしてその上で稼ぐ。そのことがひいては農業・食の安全保障につながると思います。今、福島の処理水の関係ですぐに輸入を止められたり、いつどこでどうなるか分からないので、やはり我々自身が自分達が食べるものをきちんと生産し、より多くの市民の方や国内の方々に、この地域の美味しいものを味わっていただき、食の安心安全のためにしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

特に燃料や資材の高騰が、残念ながら価格に転嫁されていないこと、そしてどれだけ大変かということ、改めて話を聞かせていただいたので、それを子供たちに少人数で農業体験をしてもらい、旭川の農業に誇りを持っていけるような食育も進めていきたいと思っていますので、是非、その際にはまたお力添えをいただきたく、よろしく願いいたします。

また、鹿の食害問題のお話がありました。これは旭川市だけではなく、鹿と熊は各地の首長さんに会えば会う度、「いや、熊が大変だ。鹿にやられた。」という話をしています。また、春熊の駆除が今年からスタートして、住民から駆除して欲しいとハンターさんや役場に電話がきて大変らしいんですね。行政は命や畑、田んぼを守っていくことが課せられた使命なのですが、過去と比べて若い人の成り手がいない。熊や鹿を撃つというのは、外してしまうと襲いかかってくるので、命がけでやらなければならないことです。首長の皆さんとお話しているのは、農家とか自分の職業として認められる「猟師」というものを作って、きちんと生計を立てていけるようにするのがハンター育成の近道なのではないかということで、今、上川総合振興局長と取り組んでいるところですので、若い人達もこの制度がスタートすれば、やってみたいという方も増えてくると思います。これは直近の課題としてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

それから、傾斜地のことについてお話もいただいていたね。

(参加者)

傾斜地を平地にできないか。そういう工事に助成金等があればと思います。

(加藤部長)

それがあると農作業は全部機械でできますよね。

(市長)

私達も勉強させていただいて、旭東地区だけではなく、全市的にそういうところがあるということですよ。

(加藤部長)

中山間地域における農地整備事業の中で可能だと思います。

(市長)

そして、コストの話で、ドローンが国産か中国製かということで、多分、私と同じ立場だとしても、性能がよくて安ければ中国製を使うというのは当たり前で、やはり、しっかりと国の方にも国産の技術開発を進めていけるように、国会議員をはじめ関係省庁に要請していきたいと思います。

それと遮熱対策ですよ。普段どういことをやっているかとか、何か御希望があればお願いします。

(参加者)

今年の転作補助金を活用して、ハウスの上に掛ける遮光シートを2棟分購入しました。

(市長)

そういった方向性で間違いはなかったですか。

(参加者)

そうですね。掛けたら全然体感温度も違うので、助かりました。

(市長)

去年、上川農業試験場を視察させてもらった時に、自動送風機の実験をしていました。

(加藤部長)

そういった実験も進めていますね。かつては自動換気システムで自動センサーで窓を開けたりとか、そういう支援もしていました。特に今年はすごく暑いですから、影響が少し心配されます。

(参加者)

そういうシステムを付けられるハウスは規模が大きなハウスなんです。3間4間の小さいのから中型タイプのハウスというのはなかなか。そのシステムは大きな扇風機の屋根の高いハウスです。換気扇も5間6間ぐらいの大きなハウスのは別として、難しいですね。

(市長)

大阪の泉大津市で、旭川の有機米を給食に使いたいと。旭川ではまだ2名しかやっていないのですが、それとお米だけではなく旭川のいろいろな野菜や農畜産物を取り

入れさせてもらいたいと。また改めて情報共有させていただきたいと思っています。せっかくの機会ですから、ほかに何かありましたら。

(参加者)

やはり区画整理で大区画化をするということは、ICT農業が仕事の余裕を持つためだけではなく、それも含めて10年後、15年後の旭川の農業を考えた時に、後継者不足や人手不足で農業生産者が減っている現状から、必要不可欠なものになっていると思います。今はまだ上川では普及が十分に進んでいませんが、これからはその設備がなければ人もいないし作業もできない。無人で動くトラクターを追隨して作業していかないとできないという規模のことをやってもらって、10年後、15年後には当たり前前の設備になるように、僕らも見据えていますし、行政としてもそのサポートをしていただければと思います。食の問題にも関わってくると思うので、そういうのをやはり支援していただきたいです。

(参加者)

子育てのことなのですが、農家は結構所得があるので子育てに関する助成が所得制限にかかる人が多くいます。所得があっても機械の更新等をしなければならず、所得を生活費に全て使える訳ではないので、所得制限で助成が受けられないのは辛いです。

(参加者)

所得はあっても実際には子供にそんなに使えない。設備投資に出ていくものが大きいので。

(参加者)

そうですね。農家は所得から家計費に使えるお金は限られているのに、ほかの人と同じように所得制限で助成がないというのは厳しいです。子供の医療費制限がなくなったのはすごく助かりました。

(市長)

では改めまして、本日は貴重なお時間をいただきまして本当にありがとうございます。今日いただいた御意見はしっかりとこれからの市の農政に反映していきたいと。また、少しでも早く基盤整備事業を完了させ、旭東地区を中心にスマート農業をしっかりと進めていきたいと。さらに、スマート農業に対する支援も国に対して要望してまいります。実証実験もスタートしますし。

また、子育て支援の関係でいえば、基本的に所得制限を廃止して欲しいと言われており、本質的な問題もありますが、その辺りも何とか進めていきたいと思っています。

今日は本当に貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。今後も私どもがしっかりと皆様のお話を聞かせていただきながら政策をつくり上げていきたいと思っていますので、よろしく願い申し上げて、終わりの挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。